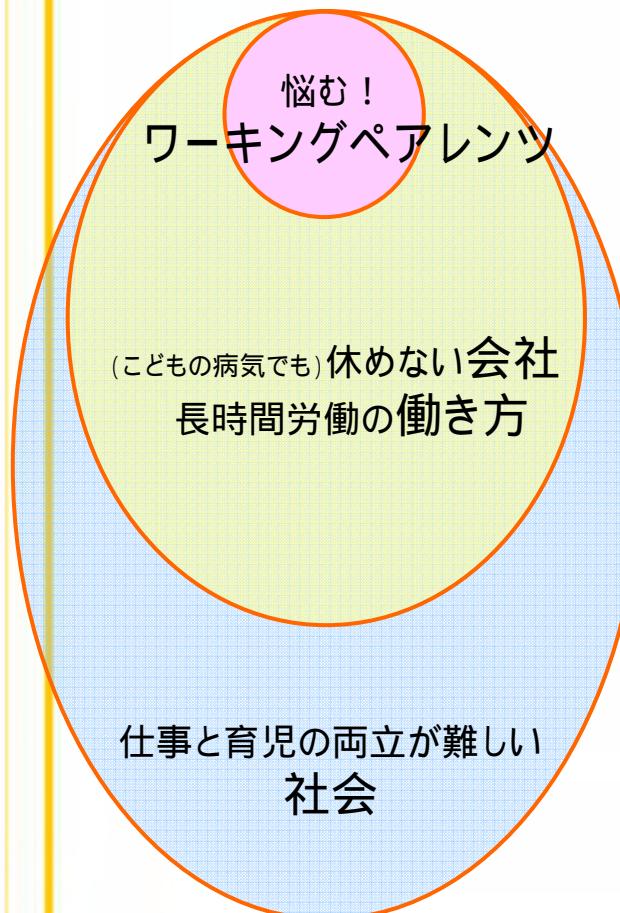


《 フローレンスのVISION 》

子育てと仕事そして自己実現のすべてに誰もが挑戦できるしなやかで躍動的な社会

現状の問題



フローレンスのアクション

地域の力で解決しよう！ 病児保育事業

フローレンスのメイン事業です。
特徴は、非施設型 / 保険型。

仕事と育児の両立て悩みことは「病児保育」と答える人が
72.2%と圧倒的な1位であるにも関わらず、病児保育を
扱う保育所は、全国に500箇所(保育所全体のわずか
2%)と非常に少ないので現状です。フローレンスは、こ
の病児保育問題を独自のモデルで解決し、ワーキングペ
アレンツの新しいライフラインとして確立していきます。
2005年4月の事業開始(江東区・中央区)後、2012年ま
でに、23区内全域へ水平展開します。

働き方を変えちゃおう！ ワーク・ライフ・バランス コンサルティング事業

次世代法(2003年7月施行次世代育成支援対策推進法)
に代表されるように、働き方そのものの見直しが迫られて
います。フローレンスでは、病児保育問題の背景にある就
労環境の改善のため、法人向けのコンサルティング業務
を行います。
次世代法対策の行動計画立案をはじめとして、「経営戦
略としてのワーク・ライフ・バランス創造」をサポートいたし
ます。

社会のノリを変えちゃおう！ ソーシャル・ プロモーション事業

「病児保育」という言葉を「待機児童」と同じくメジャー
な言葉に！を合言葉に、コンセプト発信をしていきます。
言葉がメジャーになれば、社会問題としての認識・理解
が深まり、大きな変化へのムーブメントが起きてきます。
フローレンスは、認知拡大に留まらず、病児保育を両立
支援のためのポジティブなメッセージとして発信し、仕事と
育児が当たり前の社会へ、誰もが「次の一步」に挑戦で
きる社会へ、一步づつ歩みを進めていきます。

規制改革案1

問題

補助金が交付金化されたにも関わらず相変わらず地方の自治体では660万円の予算と料金規制をかけている

なぜか！？

単なる前例踏襲と担当者の情報不足

どうすれば良いのか

厚生労働省等の方から、ソフト交付金だから自治体ごとに自由に価格設定して良いんだ、としつこく迫る

結果どうなるか

「やってもどうせ赤字」の病児保育施設から「やったらトントン、マーケティング効果を入れれば得する」病児保育施設になり、施設数が増加し両立に寄与

規制改革案2

問題

こども未来財団が出している企業向け「ベビーシッター補助券」をNPOは利用できない！！

なぜか！？

入会金が40万円と不可解に高額のため、NPOはベビーシッター協会(窓口業界団体)に入れない

どうすれば良いのか

こども未来財団に委託を出している厚生労働省に働きかけ、ベビーシッター協会にNPO枠をつくり、定額の入会金でも入会できるようにする

結果どうなるか

企業からの保育委託を受けやすくなり、子育て支援NPO業界が活性化する！